



PRESENT



明日からは寮単位ですね。寮単位はいつもとは違うということで非日常でもあると思います。こういった非日常のことを「ハレの日」とも言い、祭りや儀式などの非日常的な特別な日を指します。語源は「晴れ」からきています。

「晴れ舞台」や「晴れ着」など、今でも私たちが使う言葉にもその名残があります。学校・学園の行事であれば、収穫祭、盆踊り、寮単位、修学旅行、卒業式などなどがそれにあたるのではないかと思います。

その一方、普段の日常的な生活や行事のない日のことを「ケの日」と言い、漢字では「穀」と書きます。

学校・学園行事でいえば、日々の授業や作業・ランニングなどの日課がそれにあたります。

なぜこのように「ハレ」と「ケ」を使い分けていたかというと、心身のメリハリをつけ、日々の生活に充実感をもたらし、人生を豊かにするために行われてきました。

【ハレの日をより楽しむ秘訣】

では、ハレの日をより楽しいものにするためには何が必要でしょうか？

ここでみなさんに一つ聞きます。あなたは今おなかがペコペコです。そこにみんなの大好きなお飯が目の前に出てきます。きっと「やった！」と喜ぶことでしょう。

次はご飯をおかわりし、もう何も食べられないくらいおなか一杯の時に、大好物が出てきたとします。うれしい気持ちがありながらも、「今かよ」と思う人が多いかもしれません。

こんな例えで伝わるかはわかりませんが、何を言いたいか。

それは、ハレの日を楽しむためには

「ケの日」の頑張りが大切ということです。

ケの日に力を抜き、エネルギーを消費していない状態では、「ハレの日」にたくさん吸収することができます。

毎日毎日ごちそうが出てくるとそれが当たり前になってしまいます。日常があるからこそ、非日常に感謝の気持ちがわき、特別な感情が生まれます。

そして、先生が何を伝えたいかというと、**「もっとがんばれ！！」**

ということではなく、みんなは**いつもたくさん頑張っている**から明日からの「ハレの日」はたくさん楽しめるはずだよということです。

明日からの寮単位がみんなの記憶に刻まれる楽しいものになることを願っています。安全に気を付けて楽しんできてください。

今日の通信は柴田からでした！！